

水柱

郡上市消防本部



救急受診アプリ「Q助」

近年救急車の出動件数は増加傾向にあり、超高齢化に伴い救急車の利用はさらに増えてくると予想されています。

出動件数を統計的に見てみると、搬送された人の約半数が入院治療を必要としない「軽症」に分類されており、その結果、緊急を要する人への出動が遅れてしまい、救命率や社会復帰率に少なからず影響が生じると懸念されています。

しかし、みなさんの目の前で大切な家族が倒れてしまったとき「救急車が必要か」「必要ではないか」を判断するのはとても難しいことだと思えます。

今回はそんな「困った時」に活用できるアプリ、全国版救急受診（愛称Q助）を紹介します。

- ①まずは、アプリを起動して、該当する症状を画面上で選択していきます。
- ②選択後には、緊急度に応じて必要となる判断が、緊急性をイメージした色とともに表示されます。

☎ 問

消防本部
67・01119



●まずはダウンロード！
総務省消防庁「Q助」で検索してください。

市民のみなさんが行う緊急性の判断支援を素早く行うことができます。アプリです。万が一に備え、救急車の利用に迷った時などに、ぜひご利用ください。

赤…今すぐ救急車を呼ぶべき
黄…できるだけ早めに医療機関を受診しましょう
青…緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう又は引き続き、注意して様子をみてください

③そこから、119番通報や医療機関の検索、受診手段の検索を行うことができます。

～輝く未来に向かって～ 郡上未来通信 (郡上市雇用対策協議会)

新規学卒就職者の離職状況について

中学、高校、大学の卒業後3年以内の離職率は、それぞれ67.7%、40.8%、32.2%となっています。特に1年以内の離職率が高い状況です。

《学歴別就職後3年以内の離職率》

※平成26年3月卒業者の統計 (単位%)

学歴区分	1年目	2年目	3年目	計
中学卒	45.4	14.4	7.9	67.7
高校卒	19.5	12.0	9.3	40.8
大学卒	12.3	10.6	9.4	32.2

資料：厚生労働省「職業安定業務統計」

若者の離職理由について

若者が離職する際に決め手となったものとして、下記の理由を挙げています。

- 労働条件、休日、休暇の条件がよくなかった
- 人間関係がよくなかった
- 仕事が自分に合わない
- 賃金の条件がよくなかった
- 会社に将来性がない

やめたいと感じたら

仕事に少し慣れてきた頃(3ヵ月)、仕事の流れもひと通りつかんだ頃(1年)、少し余裕ができ、自分の働き方を他と比べることができるようになる頃(3年)、多くの人一度は会社をやめたいと思うことがあります。

次の目標、目的を持ち、チャレンジするという理由なら、やめるのもひとつです。しかし、単にいやになったとか、程度にもよりますがつらいからという理由なら少し振り返って考えてみませんか。まずは、「上司、同僚、家族、友人等相談できる人に自分の気持ちを伝えてみる」「求人状況を調べてみる」。就職状況が厳しいことや、どこもそれほど変わらないことに気づくかもしれません。

ハローワークは、在職中でも相談できますのでご利用ください。 ☎ ハローワーク岐阜八幡 ☎ 65-3108



宝くじの助成金で整備しました

市では、一般財団法人自治総合センターが実施する「一般コミュニティ助成事業」により、八幡町市島林地区の活動備品の整備を行いました。本事業は、宝くじの助成金で実施したものです。



◀ 林地区 小型ロータリ除雪機1台